ユーザ アクセスの管理

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/config/task_add_users.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

ユーザ アクセスの管理 . . . 1
- ユーザの追加 . . . 1
  - Active IQ Unified Manager でユーザーを追加する . . . 1
  - Active IQ Unified Manager でデータベースユーザーを作成する . . . 1
- Active IQ Unified Manager でユーザー設定を編集する . . . 2
- Active IQ Unified Manager でユーザーを表示する . . . 3
- Active IQ Unified Manager でユーザーまたはグループを削除する . . . 3
- Active IQ Unified Manager のロールベースアクセス制御について . . . 3
- Active IQ Unified Manager のユーザータイプについて . . . 4
- Active IQ Unified Manager のユーザーロールについて . . . 4
- Active IQ Unified Manager におけるユーザーロールと機能について . . . 5

ユーザ アクセスの管理

ユーザの追加

Active IQ Unified Manager でユーザーを追加する

[ユーザ]ページを使用して、ローカル ユーザまたはデータベース ユーザを追加できます。また、認証サーバに属するリモート ユーザやリモート グループを追加することもできます。追加したユーザにロールを割り当てることで、ユーザはロールの権限に基づいてUnified Managerでストレージ オブジェクトやデータを管理したり、データベースのデータを参照したりすることができます。

開始する前に

- アプリケーション管理者のロールが必要です。
- リモート ユーザまたはリモート グループを追加する場合は、リモート認証を有効にし、認証サーバを設定しておく必要があります。
- IDプロバイダー（IdP）がグラフィカルインターフェイスにアクセスするユーザーを認証するようにSAML認証を設定する場合は、これらのユーザーが「`remote`」ユーザーとして定義されていることを確認してください。

  SAML認証が有効になっている場合、タイプが「`local`」または「`maintenance`」のユーザーはUIにアクセスできません。

Windows Active Directoryのグループを追加した場合、そのグループの直接のメンバーに加え、ネストされたサブグループも（無効になっていなければ）すべてUnified Managerで認証されます。OpenLDAPまたはその他の認証サービスからグループを追加した場合は、そのグループの直接のメンバーだけがUnified Managerで認証されます。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**General** > **Users** をクリックします。
2. ユーザーページで、*追加*をクリックします。
3. [ユーザの追加]ダイアログ ボックスで、追加するユーザのタイプを選択し、必要な情報を入力します。

   ユーザに固有なEメール アドレスを指定する必要があります。複数のユーザで共有しているEメール アドレスは指定しないでください。

4. *[追加]*をクリックします。

Active IQ Unified Manager でデータベースユーザーを作成する

Workflow AutomationとUnified Managerの間の接続をサポートする場合や、データベース ビューにアクセスする場合は、まずUnified Manager Web UIで、統合スキーマ ロールまたはレポート スキーマ ロールを割り当てたデータベース ユーザを作成する必要があります。

開始する前に

アプリケーション管理者のロールが必要です。

データベース ユーザは、Workflow Automationとの統合およびレポート固有のデータベース ビューへのアクセスを行えます。データベース ユーザは、Unified Manager Web UIやメンテナンス コンソールにはアクセスできず、API呼び出しも実行できません。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**General** > **Users** をクリックします。
2. 「Users」ページで、**Add** をクリックします。
3. 「ユーザーの追加」ダイアログボックスで、*タイプ*ドロップダウンリストから*データベースユーザー*を選択します。
4. データベース ユーザの名前とパスワードを入力します。
5. *役割*ドロップダウンリストから、適切な役割を選択してください。

状況	この役割を選択してください
Unified ManagerをWorkflow Automationに接続する場合	統合スキーマ
レポートおよびその他のデータベース ビューにアクセスする場合	レポート スキーマ

6. *[追加]*をクリックします。

Active IQ Unified Manager でユーザー設定を編集する

ユーザごとに指定されたEメール アドレスやロールなどの設定を編集することができます。たとえば、ストレージ オペレータのユーザのロールを変更して、そのユーザにストレージ管理者の権限を割り当てることができます。

開始する前に

アプリケーション管理者のロールが必要です。

ユーザに割り当てられているロールを変更した場合、次のいずれかの時点で変更内容が反映されます。

- ユーザがUnified Managerからログアウトして再度ログインしたとき
- セッションの開始から24時間が経過してタイムアウトしたとき

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**General** > **Users** をクリックします。
2. ユーザーページで、設定を編集するユーザーを選択し、*編集*をクリックします。
3. [ユーザの編集]ダイアログ ボックスで、ユーザに対して指定されている設定を編集します。
4. *保存*をクリックします。

Active IQ Unified Manager でユーザーを表示する

[ユーザ]ページでは、Unified Managerを使用してストレージ オブジェクトとデータを管理するユーザのリストを表示できます。ユーザに関する詳細（ユーザ名、ユーザのタイプ、Eメール アドレス、ユーザに割り当てられているロールなど）を参照できます。

開始する前に

アプリケーション管理者のロールが必要です。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**General** > **Users** をクリックします。

Active IQ Unified Manager でユーザーまたはグループを削除する

管理サーバ データベースから1人または複数のユーザを削除して、それらのユーザがUnified Managerにアクセスできないようにすることができます。また、グループを削除すると、そのグループのすべてのユーザによる管理サーバへのアクセスを禁止できます。

開始する前に

- リモート グループを削除するときは、リモート グループのユーザに割り当てられているイベントを再割り当てしておく必要があります。

  ローカル ユーザまたはリモート ユーザを削除する場合は、それらのユーザに割り当てられていたイベントの割り当てが自動的に解除されます。

- アプリケーション管理者のロールが必要です。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**General** > **Users** をクリックします。
2. 「ユーザー」ページで、削除するユーザーまたはグループを選択し、*削除*をクリックします。
3. 削除を確定するには「はい」をクリックしてください。

Active IQ Unified Manager のロールベースアクセス制御について

RBAC （ロールベースアクセス制御）は、Active IQ Unified Manager サーバのさまざまな機能やリソースへのアクセスを制御する機能を提供します。RBAC を使用すると、管理者はロールを定義することでユーザーグループを管理できます。特定の機能へのアクセスを特定の管理者のみに制限する必要がある場合は、該当する管理者用に管理者アカウントを設定する必要があります。管理者が閲覧できる情報や実行できる操作を制限する場合は、作成する管理者アカウントにロールを適用する必要があります。

管理サーバでは、ユーザ ログインとロールの権限に対してRBACを使用します。管理サーバで管理ユーザ ア

クセスのデフォルト設定を変更していない場合は、ログインして設定を表示する必要はありません。

特定の権限を必要とする処理を開始すると、管理サーバによってログインが求められます。たとえば、管理者アカウントを作成するには、アプリケーション管理者アカウントのアクセス権でログインする必要があります。

Active IQ Unified Manager のユーザータイプについて

ユーザは、アカウントの種類に基づいて、リモート ユーザ、リモート グループ、ローカル ユーザ、データベース ユーザ、およびメンテナンス ユーザの各タイプに分類されます。それぞれのタイプには、管理者ロールを持つユーザによって独自のロールが割り当てられます。

Unified Managerには次のユーザ タイプがあります。

- メンテナンスユーザー

  Unified Managerの初期設定時に作成されます。その後、メンテナンスユーザーが追加のユーザーを作成し、ロールを割り当てます。メンテナンスユーザーは、メンテナンスコンソールにアクセスできる唯一のユーザーでもあります。Unified ManagerがRed Hat Enterprise Linuxシステムにインストールされている場合、メンテナンスユーザーには「`umadmin.`」というユーザー名が割り当てられます。

- ローカル ユーザ

  Unified Manager UIにアクセスし、メンテナンス ユーザまたはアプリケーション管理者ロールを持つユーザから割り当てられたロールに基づいて操作を実行します。

- リモートグループ

  認証サーバに保存されているクレデンシャルを使用してUnified Manager UIにアクセスするユーザのグループです。このグループの名前は、認証サーバに保存されているグループの名前と同じにする必要があります。リモート グループのユーザは、各自のユーザ クレデンシャルを使用してUnified Manager UIにアクセスできます。リモート グループに割り当てられたロールに基づいて操作を実行できます。

- リモートユーザー

  認証サーバに保存されているクレデンシャルを使用してUnified Manager UIにアクセスします。リモートユーザは、メンテナンス ユーザまたはアプリケーション管理者ロールを持つユーザから割り当てられたロールに基づいて操作を実行します。

- データベースユーザー

  Unified Managerデータベースのデータへの読み取り専用アクセスが許可されます。Unified ManagerのWebインターフェイスやメンテナンス コンソールにはアクセスできず、API呼び出しも実行できません。

Active IQ Unified Manager のユーザーロールについて

メンテナンス ユーザまたはアプリケーション管理者が、各ユーザにロールを割り当てます。各役割には、それぞれ特定の権限が付与されています。Unified Manager で実行でき

るアクティビティの範囲は、割り当てられた役割と、その役割に含まれる権限によって異なります。

Unified Managerには、以下の事前定義されたユーザーロールが含まれています。

- オペレーター

  Unified Managerによって収集されたストレージシステム情報やその他のデータ（履歴や容量傾向など）を表示します。この役割により、ストレージオペレーターはイベントの表示、割り当て、確認、解決、およびメモの追加を行うことができます。

- ストレージ管理者

  Unified Manager内でストレージ管理操作を設定します。この役割により、ストレージ管理者はしきい値の設定、アラートの作成、その他ストレージ管理固有のオプションやポリシーの作成を行うことができます。

- アプリケーション管理者

  ストレージ管理以外の設定を行います。ユーザ、セキュリティ証明書、データベース アクセスのほか、認証、SMTP、ネットワーク、AutoSupportなどの管理オプションの設定が可能です。

  Unified ManagerがLinuxシステムにインストールされると、アプリケーション管理者ロールを持つ最初のユーザーは自動的に「`umadmin`」という名前になります。

- 統合スキーマ

  Unified ManagerとOnCommand Workflow Automation（WFA）の統合用にUnified Managerのデータベース ビューにアクセスするための読み取り専用アクセスが許可されます。

- レポートスキーマ

  この役割により、Unified Manager データベースからレポートやその他のデータベースビューへの読み取り専用アクセスが可能になります。閲覧可能なデータベースは以下のとおりです。

  - netapp_model_view
  - netapp_performance
  - ocum
  - ocum_report
  - ocum_report_birt
  - opm
  - scalemonitor

Active IQ Unified Manager におけるユーザーロールと機能について

Unified Managerで実行できる処理は、割り当てられているユーザ ロールに基づいて決まります。

次の表に、各ユーザ ロールで実行できる機能を示します。

機能	演算子	ストレージ管理者	アプリケーション管理者	統合スキーマ	レポート スキーマ
ストレージ システムの情報の表示	•	•	•	•	•
その他のデータ（履歴や容量の使用状況）の表示	•	•	•	•	•
イベントの表示、割り当て、解決	•	•	•		
SVM関連付けやリソースプールなどのストレージサービスオブジェクトを表示します	•	•	•		
しきい値ポリシーの表示	•	•	•		
SVM関連付けやリソースプールなどのストレージサービスオブジェクトを管理する		•	•		
アラートの定義		•	•		
ストレージ管理オプションの管理		•	•		
ストレージ管理ポリシーの管理		•	•		
ユーザの管理			•		
管理オプションの管理			•		
しきい値ポリシーの定義			•		
データベース アクセスの管理			•		
WFAとの統合の管理とデータベース ビューへのアクセス				•	

機能	演算子	ストレージ管理者	アプリケーション管理者	統合スキーマ	レポートスキーマ
レポートのスケジュール設定と保存		•	•		
管理アクションから「修正」操作を実行します		•	•		
データベース ビューへの読み取り専用アクセスの提供					•

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。